

日 薬 定 例 記 者 会 見 要 旨

日 時：令和7年10月22日（水）13：30～14：30

場 所：日本薬剤師会 第一会議室

出席者：岩月会長、原口副会長、上野専務理事、山田武志常務理事

内容・提出資料：

1. 日本健康会議 2025 について（10 月 14 日：丸ビルホール&コンファレンススクエアにて開催）

岩月会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

日本健康会議は10月14日、丸ビルホール&コンファレンススクエア（東京・千代田区）において「日本健康会議 2025」を開催した。同会議は2015年に発足。少子高齢化が急速に進展する日本において、国民の健康寿命の延伸と医療費適正化について、行政、民間組織が連携し実行的な活動を行うために組織された活動団体である。実行委員は、本会を含む、経済団体・保険者・自治体・医療関係者団体などにより構成されており、自身は実行委員を務める立場として出席した。

会議では、同会議事務局より、2021 年度に採択された「健康づくりに取り組む5つの実行宣言 2025」の目標達成状況等について報告された。その中で、唯一目標を達成した「宣言5：感染症の不安と共存する社会において、デジタル技術を活用した生涯を通じた新しい予防・健康づくりに取り組む保険者を2,500 保険者以上、医療機関・薬局を20 万施設以上とする」について、医療機関・薬局において、達成数が21 万施設を超えた（約106.5%）ことが報告された。

2. 第20回 国民医療推進協議会総会について（10 月 14 日：日本医師会会館にて開催）

岩月会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

10月14日、三師会など医療関係43 団体で構成する国民医療推進協議会（松本吉郎日本医師会会長）は総会を開催し、2025 年度補正予算や2026 年度予算編成での対応に向けて、本協議会の総意として決議をまとめた。自身は同協議会の副会長を務める立場として出席した。

地方における医療は特に大変な状況であり、一度崩壊してしまうと再生は不可能である。現下の賃上げおよび物価高に確実に対応するためには、補正予算による手当てをはじめ、来年度予算による次回診療（調剤）報酬改定のための必要かつ十分な財源確保が不可欠であることなどを述べさせていただいた。

3. 「薬と健康の週間」における3 団体共同広告の掲載（10 月 17 日・毎日新聞）

岩月会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

本会、日本保険薬局協会、日本チェーンドラッグストア協会は、国民の皆様の健康維持・増進を支援するため、薬剤師の役割と機能を広く発信する共同広告企画を実施した。

高齢化の進展や医療の高度化が進む現代において、国民の健康な生活を支える薬剤師の役割は、従来の調剤業務に留まらず、より地域に根ざした身近な専門家へと変化している。

この新しい薬剤師像と、薬剤師が提供する具体的な「3つの安心」を、全国民に伝えるこ

とを目的として、薬や健康の専門家である薬剤師が、「気軽に相談できる」存在であることを強く訴求した広告となっている。

4. 第58回日本薬剤師会学術大会の参加登録数及びポスター優秀賞選考結果について

- ・4-1 第58回日本薬剤師会学術大会の参加登録数
- ・4-2 第58回日本薬剤師会学術大会のポスター優秀賞選考結果
- ・4-3 第58回日本薬剤師会学術大会のオンデマンド配信について

山田常務理事より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

第58回日薬学術大会の参加登録者は、大会終了時点で8,439名（学生185名）となった。このうち、1,326名がオンデマンド視聴での日本薬剤師研修センター「研修認定薬剤師制度」の単位取得を希望している。オンデマンド配信は11月18日から12月17日の期間を予定しており、10月27日から参加登録受付を再開する予定である。再開することにより、最終的な参加登録数については増加を見込んでいる。

また、完全ウェブ開催の2021年・福岡大会は10,514名、2022年・宮城大会は7,435名（内、ウェブ参加2,385名）、2023年・和歌山大会は5,937名（同1,527名）、2024年・埼玉大会は8,086名（同1,141名）であったことから見ても、ウェブ参加者が近年は減少傾向にあった。今回、初の「オンデマンド配信」の企画、単位取得の実現により、オンデマンド視聴での参加希望者が増えたものと考えている。

第48回大会より創設した「ポスター優秀賞」については、最優秀賞1題、優秀賞5題を選考し、本会ホームページにて発表した。

5. 日本薬剤師会公式キャラクター「ふあるみん」イラストデータダウンロードシステムの公開について（令和7年10月20日 日薬総発第17号）

原口副会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

日本薬剤師会公式キャラクター「ふあるみん」については、本年2月より、「ふあるみん素材データ」および「ふあるみん47都道府県薬剤師会ご当地デザインデータ」を都道府県薬剤師会、地域薬剤師会の利用に限定して提供し、「利用許諾申請書」の本会への提出をもって様々な用途でご活用いただいていた。

そしてこの度、利用範囲を拡大し、会員の皆様にも「ふあるみん」のイラストデータを円滑にご利用いただけるよう、本会ホームページ（会員向けページへのログインが必要）にイラストデータダウンロードシステムを公開し、「利用規約」を確認の上、利用申請フォームに入力、申請することにより、イラストが一括ダウンロードできる。このことについて、都道府県薬剤師会を通じて、地域薬剤師会、会員に周知したところである。

主な質疑応答は以下のとおり。

【新政権について】

記者：高市自民党総裁となり、自公連立政権から維新との連立政権になることで起きる変化について見解はいかがか。

岩月会長：どなたになられても、社会保障に関する費用を確保いただきたいという本会の要望に変わりはない。政権運営の安定と、一刻も早い補正予算の議論開始を希望する。

今回の定例記者会見は、令和7年11月5日（水）15：00～を予定。